

十二の作品によせる十二の風景〈その二〉

クリスティーナ・ロセツティ

吉村由美（エツセイスト） 絵／南 和好

「Sing-Song」

六甲の山頂には粉雪が舞うのであらうか。昨夜から気温は急速にさがりはじめた。山の稜線をおおう霧を、風の流れが中空へと巻きたててゆく。山麓の街、六甲は風の流れを感じさせる街である。グレイがかった冬の雲の下にしずむ風景を、またさらに冷たさで彩るよう、山からの風はその激しさのゆえに、あの海のはてにまで吹きわたつてゆくのであらうけれども。

昨年の十二月から今年一月にかけて、私は単行本の原稿〆切りに追われていた。近くに建つカトリック教会のクリスマスミサを告げる鐘の音をききながら、ただひたすらに原稿にむかう時の連続である。街の灯は遠くしずみ、ひとつの年が過ぎゆく騒やかな人々の群れのゆらめきも、はるか無縁なままにすみやかに時はすぎ去つてゆく。文字でうめつくした数百枚の原稿を読みかえし、最終章を書きあげて発送したのは一月に入つてまもない日の朝である。街路に舞う粉雪、グレイがかった冬の風景を吹きすぎてゆく風の流れ。空気の冴えた冷たさはまたさらに、人の心に激しくしなやかな思惟を思わせるのかもしれない。

彼女がえがくのは、ときに風であり雪であり、樹々や花々や動物だが、その限定された素材のなかに、ひとつ明確で抒情性にみちた詩的世界がうかびあがつてくる。母からの贈り物であつた。短い詩だけを集めたこの詩集は、やさしい言葉でつづられながら、キラリと輝く鋭敏な感覚と、深い洞察の知性を感じさせる。

クリスティーナ・ロセツティの詩集「Sing-Song」はやさしい言葉で書きつづられた英文の童謡集である。この一冊の小さな本を、私は十二才になつた日、手にした。母からの贈り物であつた。短い詩だけを集めたこの詩集は、やさしい言葉でつづられながら、キラリと輝く鋭敏な感覚と、深い洞察の知性を感じさせる。

材を彼女自身のテーマとして、繊細だがしなやかな魂を、音楽的に詩いつづけたといえるのであらう。むしろ多く題材をもたず、大量のイメージで詩の言葉をうめつくすことを見ながつた彼女の感性は、透明にみがかれ自然を通して愛、別離、憂い、祈り、慰めを詩うのである。

クリスティーナ・ロセツティは、ラファエロ前派の創始者であり画家、詩人として知られる、ダンテ・ガブリエル・ロセツティの妹である。クリスティーナは清純な美貌をもち兄の絵のモデルになつた時期もあつた。しかし彼女の生涯のほとんどは病弱であり、健康だったのは数年間にすぎない。つねに死の想念との内面的なたかみ、ひとつの年が過ぎゆく騒やかな人々の群れのゆらめきも、はるか無縁なままにすみやかに時はすぎ去つてゆく。文字でうめつくした数百枚の原稿を読みかえし、最終章を書きあげて発送したのは一月に入つてまもない日の朝である。街路に舞う粉雪、グレイがかった冬の風景を吹きすぎてゆく風の流れ。空気の冴えた冷たさはまたさらに、人の心に激しくしなやかな思惟を思わせるのかもしれない。

詩集「シング・ソング」の出版は一八七二年。約十年間、書きつづけた短詩を集めたものだが、クリスティーナを深く愛しつづけたチャーレズ・ケイリーとの婚約、そして病弱のための婚約解消の時期にあたる。

Good-bye in fear, good-bye in sorrow,
Never to meet again, my dear —

恐れと悲しみで別れを告げ、二度とお会いしません、いとしい人と書きとめたこの詩は、別れを告げたチャーレズへの言葉であつたのかもしれない。子供のために書かれた詩集「シング・ソング」は、チャーレズの兄アーリー

サー・ケイリーの子供にささげられている。彼女の生涯には二度の婚約解消がある。チャールズに出逢う以前、画家ジエイムズ・コリンスンとの宗教上の理由による別離である。カトリック教徒であったジエイムズと、英國教会に属したクリスティーナの、おたがいの祈りの場を捨てえなかつた結果の別れであった。二度の婚約解消のあと、彼女は生涯を独身ですこす。童謡集「シング・ソング」は、彼女がもてなかつた愛し子への、愛とやさしさと慰めにみちた魂の詩であるかのように思える。

Who has seen the wind?
Neither I nor you
But when the leaves hang trembling
The wind is passing thro.

Twist me a crown of wind-flowers,
That I may fly away
To hear the singers at their song,
And players at their play.

アネモネの花冠を私に編んでください
はるかかなたに飛んでゆきたいのです
誰かがうたう歌を聴くために
誰かが奏てる曲を聴くために
これは私の独断的な解釈だが、メルヘンの世界を思わ

せるロマンティックな情感がある。wind-flowers といふもの、いかにもこの詩のイメージにふさわしく、言葉のひめやかな旋律と映像を感じさせむ。

クリスティーナ・ロセッティの詩のなかで、もつともよく知られている作品だ。「だれが風を見たでしょう」という小さな子供に語りかけるような詩句について、木の葉が風にゆれながらさがつてている時、風が吹きすぎてゆくのだという。やさしい言葉の音楽的な表現のなかに、より深い象徴的な意味さえ含まれているかのように思われる。人は目に見えぬものを感じ、見つめることによつてその実在を知るのだと。冬の街路を吹きすぎる風のなを歩きながら、私は並木の梢をゆるがせて流れる風の姿をみていた。

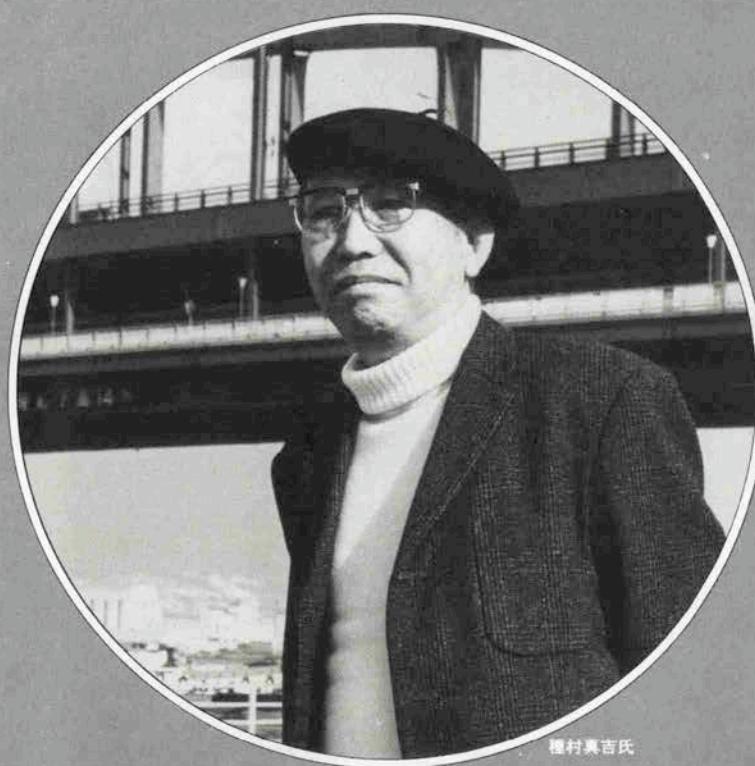




パントリー（配膳室）。奥の小型レンジで簡単な料理などをするが、レンジの上部にグリッド（なべなどを固定）がついているのも船ならでは。
(HERMINIOS ポルトガル 39,342t)



スモーキングルームからダイニングサロンを見たところ。サイドポートを左舷に寄せ、出入口を広くとっている。（はしふいっく丸 日本 40,609t）



櫻村真吉氏

執筆・種村真吉

（元川崎重工設計副部長
クリップス・インテリア・デザイナー）

船内インテリア今昔
船の住まいあれこれ

海
船
港

神戸の港は平の清盛の頃から開け、今では日本を代表する港として世界各国の客船や貨物船、練習帆船などがひきもきらずに来港している。中でも客船は来港のたびにクイーン・コウベやプラスバンドの出迎え、新聞テレビにも華やかに報導され神戸市民の関心を集めているけれども客船は全世界の船の中では約10%にすぎず、むしろ特殊な船である。船の住まいというと一船の人の念頭に浮ぶのはまず客船のそれだろうが、神戸出入港船の大部を占め、人々の生活を支えている。あまり一般の目にふれない地味な貨物船の住まいをあもに紹介してみたい。

海や船は口マンチックな夢をさそう様だがその中の生活は荒れる海や酷熱の地から極寒の地への急速な変化、娯楽も少なくなかなか厳しいものである。

船の居住設備が充実されたしたのは意外に新しい居住設備らしきものが出現するのは今から一三五〇年程前で地中海の商船にタイルで舗装された調理室をもつたものがあつたが、船室はそれのみでほかにはない。寝室が現れるのは一四九二年のサンタマリヤ号などの帆洋帆船が発達してからだが、それも士官だけで一般乗組員は十七世紀の中頃迄特別な居住区を持たず、甲板上に眠るか又は彼等自身の場所を見付けなければならなかつた。食事は食卓も椅子もない甲板上でされた。船首樓内に彼らの大部分が出来たのはそれよりずっとあとである。ハンモック

クは船の寝具として有名だがそれが現われたのも十九世紀の初めからであつた。便所や浴室は勿論なく排泄は舷側につかまつて直接海中にする。士官はオマルだつた。風呂はなくスコールで間に合わせた。水は貴重で戦前の商船でさえ一日約六ℓの水とテキサンタ一本の飲料水だけだつた。

一八七〇年に処女航海をしたウィスキーの名で有名なカティーサーク号から徐々に、居住設備は、向上し始めたのはやはり戦後暫く四人ずつの大部屋だった一般乗組員も現在は個室で士官との差も殆んどなくなってきた。差も殆んどなくなってきた。

食事は船の生活にとつて長い間唯一の楽しみで船の食事は良いと一般に思われてきた。実際腕の良いコックも多く殊に客船の司厨長で陸に上つて有名なレストランを開いた人々もちよいちよ見かけたものである。

ところで客船だがその出現は蒸気船になつてからで、それ迄は荷物の間に客が乗乗するという形だったのが、やつと客の専用スペースが出来たという程度で、貨客船でありとても現在我々が見る客船といえるようしなるものではなく、下等の船客は寝具、飲食器などは自弁だった。現代の客船に近いものが初めて出来たのは一八七〇年（明治三年）のオシアニック号で、この船は画期的な

外国船は夫婦で乗る場合も多く、ダブルベットが備えつけてある。
婦人の為に三面鏡も。(EPIC リベリア 46,230t)

「スルーム。外からのぞかれないと上半分が開く櫛引硝子の特
殊な舷窓をとりつけてある。(EPIC)

このタイプの貨物船のサロンとしては最も典型的なものである
(春栄丸 日本 9,009t)

ものだった。

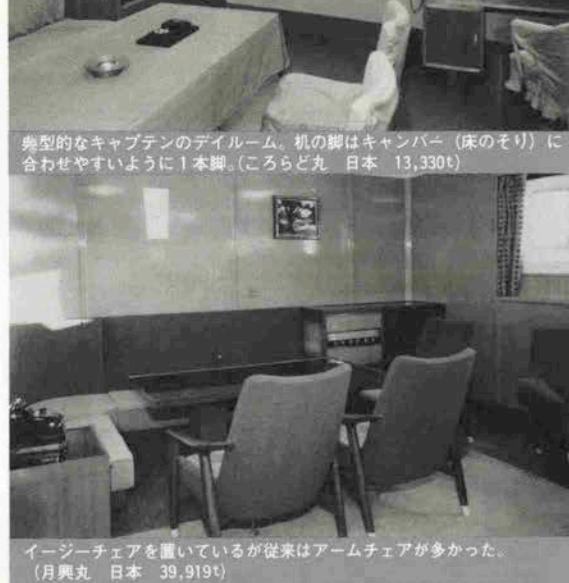
客船は勿論交通機関が最初の目的だったが同時に非常に植民地に送る軍隊の輸送や移民もその一つだったが、航空機が発達して交通機関としての機能は大巾に失なわれ、植民地も殆んどその姿を消した今、航洋客船は国威の誇示とクルージングによる遊覧船といえる。従つて金と闇のある人々が大体は対象で内部は豪華に、娯楽設備はもとより、病院、子供室、犬小屋迄完備し、食事



サロン。サイドボードをセンターに配置し、出入口は2ヵ所。丸テーブルは籠枠で囲み卓上の物が落ちぬ様になっている。(HERMINIOS)



典型的なキャブテンのデイルーム。机の脚はキャンバー(床のそり)に合わせやすいように1本脚。(こらど丸 日本 13,330t)



イージーチェアを置いているが従来はアームチェアが多かった。(月興丸 日本 39,919t)

これから段々日本人も船旅を楽しむ様になるだろうが、船は等級により待遇に非常に差があるから等級のある船の場合は一等以上に乗る事をおすすめする。ただ近頃は上流階級のみでなく出来るだけ広い層の人々を乗せるようモノクラスの船も出来てきて段々船旅も楽しみ易くなつて来ている。

客船や帆船も良いけれども終りにおすすめしたいのは皆様が港に散策などで出掛ける時そればかりでなく船の本命である地味な貨物船にも関心をもつて御覧になる

ことで、それら貨物船にもジックリ見るとなかなか盡きせぬ味わいがあるものです。

著者略歴 昭和16年東京高等工芸学校木材工芸科(現千葉大工芸学部建築科)卒業 同年4月立造船入社、23年川崎重工業入社、設計副部長を経て53年退社。以後、フリーのシップスインテリアデザイナーとして活躍。著書には「船舶の室内」「日本の室内」などがある。他に共著も出版。昨年10月に発行された兵庫県大百科事典の「船舶」の項目も担当執筆している。現在「住まいのインテリア」に関する本を出版するため執筆中。63歳。

は山海の珍味を供し、数々の催しものを開いて長い船旅を厭させず快適な生活が出来るようになつてている。乗組員は船客二、三名に一名の割合でまさに王侯貴族になつた気分になるだろう。

客船というと前記の豪華客船を思い浮かべるのだが客船にもフェリーやメツカ巡礼船などいろいろあり、乗船期間が長いのか短いのか、熱帯航路なのか寒帯航路のか、人種、宗教、階層などで内装も大巾に変つてくる。

早春の布引“大しま”で 牡丹鍋と灘の酒を。



左より布引大しまのお座敷で“牡丹鍋”を囲んで二代目の大島裕子さんと今井啓介社長そして大島有紀子塾長

節分の豆まきの声が聞こえる、
布引“大しま”的お座敷。今宵は
『遊芸指南塾』(大島有紀子塾長)
第一期生で皆勤の今井啓介さん(今
啓パール社長)こと今出屋助左衛
門さんをゲストに「牡丹鍋」を味
わいながら大島塾長と二代目裕子
さんと辛口大閑の灘の酒で乾杯！
今井啓介社長のご先祖が伊予吉
田伊達藩の御用商人で、現在今出
屋助左衛門十八代目にあたる。ボ
ートピア'81の年「神戸めぐり」「淋
しい酒」を東芝レコードで吹込
だ時の芸名にその名を生かした訳。
情感あふれる演歌風の唄いぶり
はカラオケ神戸街でも有名だ。

「故郷の宇和島の花街を、祇園は
真珠業界の先輩に教わりお座敷遊
びが好きになりました。

一生懸命に仕事をしますが、遊び
も頑張る、遊びのない人間に仕事
が出来るかといいたいですよ(笑)」
と、さすが『遊芸指南塾』の優等生。
塾長は紫地、裕子さんはピンク地
の前田親男先生デザインのモダン
な着物姿も美しく、七代目尾上菊五
郎の鏡獅子の隈取りが床の間にか
かり、大しま特製の味噌仕立て『牡
丹鍋』が香わしい、日本情緒漂う
早春の宴です。

おしながき／牡丹鍋・すき焼・しゃぶし
やぶ・魚しきり各五十円 小宴会会
ウンター／おでんや湯豆腐・鍋を地酒で、又カ
2月4日／遊芸指南塾節分お化け大会
於／北野おき川／会員／ビジターリー共に料金
¥2,400/0
☎ 078-221-1745

布
引
大
しま

神戸市中央区熊内町四丁目八番一九号
電話 078-221-1945

トアロードから神戸ビーフのエスプリを



●れんが亭(2月)のゲスト

道上 洋三・唐川 満知子さん

朝日放送ラジオの朝の人気番組「おはようバーソナリティ」で大活躍の道上さんとアシスタントの唐川さんが、今月のお客さま。番組歴7年の道上さんは大の肉好き。「35歳を過ぎてから魚もよく食べますが、かえって肉の味が分るようになりましたね」。生っ粹の神戸っ子の唐川さんも食べることには目がないようで、息の合ったコンビのお二人です。

ステーキハウス
鉄板和紙焼®

れんが亭®

神戸市中央区下山手通2丁目5-5(トアロード) TEL.078(331)7168

営業時間／平日AM11:30～PM2, PM5～9 日曜・祝日 正午～PM4, PM5～9 無休

KOBE 百店会 MAP

★KOBE HIGH CLASS SHOP GROUP
神戸のユニークな専門店でお買いものを、

●センタープラザ	●さんプラザ
B1 フューリーベル	B1 なんかつ武藏
グランダカシバリー	B1 亀井堂
↑F ベル	B1 ゴンチャロフ
1F ベニヤ	B1 カスクード
1F 大和屋シナジー	1F ジョアンナ
1F 春夢	1F モロゾフ
2F 講苑	2F セリザワ
2F シャンナ	2F ミスマ
3F リザ	2F 3F 三雲
●神戸ポートピアホテル	3F 藤芸
B1 つるや衣裳店	3F コマツヤ
1F ファミリー	3F 田崎真珠
2F クロス	●3星ターミナルホテル
2F 田崎真珠	11F ベル
	11F チャンチャロフ
※地区的な都合上記入できないメンバー	
●六甲オリエンタルホテル	
●インテリアアリフネ	○有馬温泉 古泉閣

アーモンドの香り マンデルチーケル



本社・神戸市東灘区甲南町1丁目4-28 ☎(078)451-0321(代)
本店・神戸市中央区元町通3丁目2-11 ☎(078)331-7367(代)

直営店・神戸元町本店・さんちか店・阪急三番街店 取扱店・全国有名百貨店

株式会社
本高砂屋

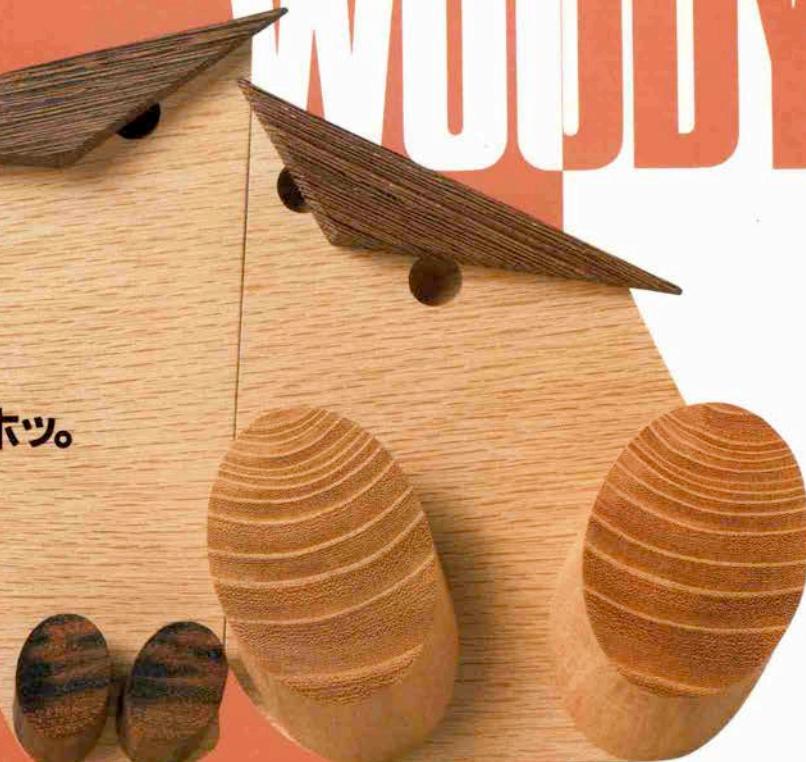
WOODY

感じますね、
自然のぬくもり。
素朴な木肌に、ホツ。

カラフルな色も素敵
だけれど、土や海や
木の色って不思議です。
やすらぎを感じるんですもの。
自然が作った色だから、
やさしく心に映るのかしら…。
何かを語りかけているような、
木の動物たち。
そばに置いてみませんか。



●みみず(5P)… 25,000円
(5階インテリア用品売場)



DAIMARU
大丸・もとまち

二宮町から移転した、新しい海皇。
神戸ポートアイランドビル11階です。

神戸港や六甲山が一望のもと。窓から眺める神戸の街も、「海皇」のおいしさのひとつです。

4、5名様から200名様のご宴会まで、あらゆるお部屋をご用意いたしております。



大小の個室が6室。ご人数に合わせたスペースをご利用いただけます。

新春ご家族特別お食事会

ご家族や奥様方のお食事会に、ぜひご利用ください。

お1人様 6,000円

2名様より。フルコースのお料理に
税・サービス料・お飲み物を含んでいます

期間：1月15日(日)～2月29日(水)

ご予約のお客様に限っての特別サービスです。

●お昼、午後5時半および午後7時半以降スタートのご予約



テーブルを囲む顔が増えるほど、楽しさも大きくなります。

11階ならではの眺望をお楽しみください。

ご予約・お問合せは——
(078)302-0008

神戸市中央区港島中町4丁目
神戸ポートアイランドビル11階

- 駐車場(無料)完備
 - ポートライナー「中公園駅」と直結

海鮮酒家

HAI WHAN
海皇

珈琲は音楽



レッスンのあとの一杯。
豊かな香りが
やすらぎのメロディを奏でる。

Mon cafe, mon ami.
コーヒー友達

炒りたて、挽きたての味と香り

UCC
レギュラーコーヒー



UCCアロマパック
(特殊パルプ付包装 200g)

発行・(有)月刊神戸つ子 神戸市中央区東町1-13の1 大神ビル9F 郵便番号650-0331 電話(078)331-2246

昭和59年2月1日発行

昭和40年1月20日第三種郵便物認可

ナニワ印刷(株)印刷

編集・発行 小泉康夫

郵便番号

電話

大神ビル

東町

中央区

神戸市

郵便番号

650-0331

電話

(078)331-2246

発行日

昭和59年2月1日

第三種郵便物認可

ナニワ印刷(株)印刷

編集・発行

小泉康夫

郵便番号

650-0331

電話